

# 生涯教育研修会報告

勤労者支援事業部  
地域活動事業部  
研究教育事業部

【目的】 栄養ケアプロセス（NCP）を進めるには適切に栄養管理記録を作成することが求められる。よってその方法を理解し実践できる能力を養うとともに、栄養管理をチームの中でうまく進めるためのノウハウをつかんで日常の仕事に活かす。さらに2017えひめ国体が開催されることから、スポーツ栄養の基本を学び栄養士としてマンパワーを発揮する。

## 【開催日時、場所、参加者数】

日 時：平成29年1月28日9:30～16:40

場 所：愛媛大学農学部多目的ホール（本館3階）

参加人数：延べ 69名

（1.演習 会員18名+一般4名、2.講義 会員20名+一般5名、3.講義 会員18名+一般4名）

主 催：愛媛県栄養士会

## 【講義内容および報告】

### 1.演習（9:30～11:00、11:10～12:40）

講師：高齢者総合福祉施設砥部オレンジ荘 管理栄養士 上田 眞知子先生  
医療法人団伸会奥島病院栄養室 室長 石田 美津子先生  
愛媛大学医学部附属病院栄養部 主任 永井 祥子 先生



内容：栄養管理記録（演習）

栄養状態の評価や栄養教育を実施した場合、他スタッフへ報告する必要がある。栄養管理記録はコミュニケーションのツールとなる。また、業務に一貫性を持たせることもできる。問題指向型システム（POS）を理解し、SOAPを用いた記録をとることにより、問題解決のプロセスを知ることができる。さらに、栄養診断には、PES報告、「S（Sign/Symptoms 症状/徴候）により E（Etiology 要因）が原因となった（関係した）、P（Problem）の状態と栄養診断できる」も求められる。本研修ではいくつかの症例から、記録の取り方の演習を行った。

### 2.講義（13:30～15:00）講師：（公社）徳島県栄養士会 会長 高橋 保子先生



内容：チームによる栄養管理

栄養の指導（給食管理も含む）は医療行為であり、チームでの栄養管理では、コミュニケーション、情報の共有化、チームマネジメントが視点となり、情報の提供が自信をもってできることなど栄養士の資質が問われる。長年の経験に基づいたお話で、今後の励みとなったと思われた。

### 3.講義（15:10～16:40）

講師：（株）ヘルシープラネット代表 公認スポーツ栄養士 今川 弥生先生  
国体選手やスポーツ選手、そして保護者の栄養に関する知識の現状について、また選手のフェリチン値とパフォーマンスとの関係などから、2017えひめ国体へ向けての示唆に富むお話をいただいた。



報告者 亀岡恵子